

事業番号	事務事業名	地域特産物振興事業補助金	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
02870	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農政係	担当者・シート作成者	久常 弘揮
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等	鏡野町補助金等交付規則 鏡野町地域特産物振興事業実施要領		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地域の特性を生かした水稲に代わる作物を推進することにより、農業者の意欲向上と地域特産物の育成を図るための事業	地域の特性を活かした特産物の育成を図るため

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町指定の地域特産物の作付を行った農家	ア 対象農家	人	見込 実績	90 87	90 84	90 75	90	90
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 米作付面積の減少による生産調整の拡大	ア 生産面積	m ²	目標 実績 達成率	6,200 4,448 71.7%	6,200 3,451 55.7%	6,200 2,942 47.5%	6,200	6,200
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 対象農家への申請(実績)受付	ア 申請(実績)件数	件	目標 実績 達成率	85 80 94.1%	85 71 83.5%	85 64 75.3%	85	85
イ 補助金支払い	イ 補助金額	千円	目標 実績 達成率	6,300 4,370 69.4%	6,300 3,259 51.7%	6,300 3,099 49.2%	6,300	6,300
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 06 農林水産業費	項 01 農業費	目 03 農業振興費	大事業 14 中事業 01	予算上の事業名	地域特産物振興事業補助金	事業番号	02870					
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	4,700	6,860	5,949	4,500	4,500	-911	一般財源	4,371	3,260	3,100	4,500	4,500	-160	
合計	4,700	6,860	5,949	4,500	4,500	-911	合計(A)	4,371	3,260	3,100	4,500	4,500	-160	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1		
	延べ業務事務時間						100	100	100	100	100	100		
	人件費計(千円)(B)						338	350	334	335	335	335	-16	
最終予算額		5,949 千円		予算執行率		52.1%	トータルコスト(A+B)		4,709	3,610	3,434	4,835	4,835	-176
主な支出事業内容(予算)	補助金						5,949 千円							
	主な支出事業内容(決算)						補助金						3,100 千円	

事業番号	02870	事務事業名	地域特産物振興事業補助金	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
開始時期と比べ対象作物の追加、簡易施設の整備支援の追加を行っている。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
農家から補助要件の緩和を求める要望があった。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	地域特産物の生産拡大は町農政事業の基幹であり、政策体系と合致する。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	地域特産物の振興という観点からも、町の関与は農政事業の一環として妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象作物については、地域特性を生かした収益性の高い作物としており、市場動向などから判断して検討する必要がある。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	補助申請の状況などを考慮し、対象作物の選定や補助金額の変更などにより成果を向上させる余地はある。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	転作面積の減少、地域特産物の生産規模が縮小する可能性がある。また転作面積の減少分が主食米の作付に回ると米価の下落につながる恐れがある。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	作付動向に配慮して、対象作物の選定や補助金額の変更などによる改善の余地はある。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	生産拡大を図るための補助であることから、補助金削減が地域特産物の生産面積減少につながる恐れがある。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	業者の収益に直結し、町予算から補助金を交付していることから、業務委託には適さない。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	農業者の申請による補助事業であるため、受益者の公平性は損なわれていない。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	生産調整に伴う水稻作付面積の減少と、農業者の収益向上に一定の効果をもたらしている。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 令和3年度から対象作物の追加、交付要件の一部緩和を行う。 今後も対象作物の選定及び助成単価の調整など、農家の実態に即した補助事業としての運用を行い、地域特産物の増産を図る。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
対象作物の追加にあたっては、営農計画書により、農家の作付内容を正確に把握することが必要。																									